



南部町

# 議会だより

No. **56**

平成28年  
11月11日発行

(臨時)

<http://www.town.nanbu.yamanashi.jp/>



# 新たな議会が スタートしました

正副議長・委員会構成決まる

# 議長に望月將名議員

## 副議長に望月藤一議員を選出

11月1日、平成28年第2回臨時議会が開催されました。議会議員一般選挙後の初めての議会で、正副議長の選挙では、指名推薦により、議長に望月將名議員、副議長に望月藤一議員が当選しました。このほか、議会運営委員会、各常任委員会や議会広報編集委員会等の構成がそれぞれ決定し、新しい南部町議会がスタートしました。



議長 望月將名

今回議員各位の全会一致のご推挙によりまして、再び議長の要職をあずかることとなり、身の引き締まる思いであります。

これからも、議長の職務に当たりましては、絶えず公平性をもって、議会運営に努めてまいりますとともに、今後のさらなる発展に向けて、全力を傾注してまいります。

議員各位には、これまでと変わらず、ご協力のほどお願い申し上げます。



副議長 望月藤一  
(総務建設常任委員)

私たちの町も、他町村同様に少子高齢化、人口の減少は言うまでもなく、肥大化する都市の近隣地域であり、この町の持てる資産を活かし、都市が求める重要な町として、その

す。

さて、いま町を取り巻く環境は大変厳しく、少子高齢化に伴う人口減少に歯止めをかけるための定住促進対策や、福祉対策、防災対策など、課題が山積みしておりますが、これらの解決策としては、住民とより多く接する機会を増やし、意見や要望をいかに議会として取り上げるかが重要であり、そのためにも、新たにスタートした議会議員12名が一丸となって、町民の負託に応えられるよう、頑張ることが必要不可欠であると考えます。

なお、南部町過疎地域自立促進計画の産業振興の中で本町は古くから農林業が主な産業であったが、近年の第一次産業の低迷により後継者不足が顕著となっております。農林業の

役割に対応できる町となり、循環型社会の現実的実現のために、むやみに経済成長を追いかけず、この町が何を果すべきか基本的に見つめ、知ることが必要不可欠ではないでしょうか。

そこに住む人が自分達の町は、自分達で守るを理念とし、官民一体となり、他に類のない町づくりのために。人材の育成・子育て・教育。溢れる自然環境の活用と歴史文化を活かした観光交流

振興策としては、更に中山間事業等を通じた基盤整備を行いJ A、森林組合、NPO法人等と連携しながら新たな農業経営への転換と耕作放棄地解消を図る必要があります。

企業の誘致については、日本経済の低迷により雇用の方は減少してきており、就労先の確保策として平成30年度に完成が予定されている中部横断自動車道の、本町のIC横の企業誘致として町が購入した土地へ一日も早く企業を誘致する事が、いま本町に課せられた一番重要な課題ではないか。

結びにあたり、町長をはじめ、執行部の皆様方におかれましても、これまでと変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

。地域の特性を活かし付加価値の高い農産物生産への挑戦。楽しみながら豊かな老後を基盤とし、若者が糧と出来る日のために。定住化対策・住環境の整備・林産業のありかたと活性化

この三点は総合的この町のあり様を皆様と共に大きな課題とし20年、30年先を見、資産を活かしながら、定住化出来る誇りの持てる町づくり。に尽力していき、住んでよかった町、住んでみたい町にしていきたい。



## 議会運営委員会



委員長  
堀之内可和  
(総務建設常任委員)

私は、皆様の温かいご支援により再び町政に関わる事ができ、今は身の引き締まる思いであります。議会と行政は立場は異なるが、車の両輪であると常に感じております。町づくりは互いに意見を述べ、議論を交わしながら、是々非々の姿勢で町政の発展に寄与していくことが大切であると思います。

なお、本町の最も誇れる人間性を重視した町づくりを柱として、皆様の声を町政に反映し、福祉・教育施策・中部横断自動車道の開通を見据えた町の更なる飛躍に、全力で取り組んでいく所存であります。

## 議会運営委員会

副委員長 望月藤一  
委員 森田守  
委員 仲亀佳定  
委員 遠藤光宣

## 総務建設常任委員会



委員長  
遠藤光宣

私は、過日行われた臨時議会において、総務建設常任委員長を務めさせて頂くことになり、身にあまる光栄です。その責任の重大さに、身の引き締まる思いです。いま町において

は、防災をはじめ産業振興・少子高齢化・学校の統合問題等課題が山積みの中、地域の役割りは重大です。中部横断道の開通や、国道52号の雨量規制解除も間近です。交通の利便性を活かし町の発展に結びつけ「明るく元気で魅力ある町づくり」を進めて行きます。私は南部町が大好きです。皆様には、更なる御支援御協力をお願い申し上げます。



副委員長  
市川 強

月日の流れは速いもので、前回の議員活動終了から4年が過ぎ、新たな4年の任期を頂きました。さて、外から見るとやはり問題点は多数あります。これら問題の一つひとつ、コツコツと当りたい。なにが議会に求められ、町と町民の想いの違いは何なのか、4年の短い期間に結果を出さねば成らない。



委員 良一  
若林

私は、南部町民の中の一代表として、町政にも係わりを持つ立場となり責任と使命感で一杯です。

私は、永年の消防団員の経験から、現在の団員数の現状維持や、防災の充実を図り、住み良い南部町を築いて行きますように力を注ぎます。一年生議員として勉強と努力を惜しまず、力一杯頑張ります。



委員 茂広  
高橋

新人議員として当選証書を受け取り、とても身が引き締まる思いであります。これからの4年間町民の皆様の声や心に耳を傾け、共に考えて、政策に活かし、希望と魅力を感じる新しい町づくりに、一生懸命取り組む決意です。

議会の持つ使命を達成出来るよう、議会の一員として努めていきます。



# 文教厚生 常任委員会



委員長  
仲 亀 佳 定

晩秋の候、朝夕の寒さが日ごとに増してきておりますが、皆様方はお元気で過ごしておりますか。

お身体には十分気を付けて下さい。この度私は、文教厚生常任委員会の委員長としての任務を承り、職務の責任の重さを痛感致しております。

今後は、委員各位の皆様方のご支援、ご協力を頂きながら、医療、教育等の山積み課題につきまして、全力で邁進して参る所存でございますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



副委員長  
若 林 一 明

私は立候補にあたり、4つの目標を掲げました。里山林・竹林の整備、子育て世代の応援、高齢者の働く場の確保、指定避難所の耐震化です。目標の実現のために、地域の資源・特性を生かします。地域の安全を守り、活力ある町づくりの推進に、これまでの経験を活かし、貢献していく決意であります。



委員  
森 田 守

あすの南部町を見つめ、町民の皆様の声や町政に反映させ、未来に希望をつなぐ町づくりに努力します。

子どもたちの地域愛を育み、地域の伝統文化を守り、伝えていく活動の支援策について推進していきます。

また、議会選出の監査委員として、行財政運営をチェックする中で、町の進展に寄与したいと思っております。



委員  
小 泉 昇 一

いま政治・経済はもとより、人も文化も東京に集中する現実、地方の人口減に拍車を掛けています。

私は、その状況のなかで、わがまちを大切に、南部町が山梨の南の玄関口にふさわしい町であることを願ひ、住民の命と暮らしを最優先に考え、それを支えている働き手を尊敬し、町民に対して礼節を重んじます。



委員  
望 月 光 彦

今回、議会議員の拝命を受け、支援して下さった皆様へ感謝すると共に、その責任の重さを痛感している所です。この4年間の任期の中で、その御恩に報いる様「住み良い町づくりをめざして」努力していく覚悟です。まずは、町民の意見に耳を傾け、小さな事からコツコツやろうと思えます。お声を掛けて下さい。

峡南広域行政組合議会議員

遠藤 光宣  
高橋 茂広

県後期高齢者医療  
広域連合議会議員

望月 藤一

議 選 監 査 委 員

森田 守

## 編 集 後 記

急に寒さを感じる頃となりました。議会広報編集委員会では、先月執行された町議会議員選挙後の、新しい議会構成についてお知らせします。町民の皆様にも一日でも早くお伝えしたい観点から、臨時号を発行いたしました。

なお、今期の新しい議会広報編集委員は次のとおりです。

(広報編集委員会委員)

委員長 森田 守  
副委員長 望月 光彦

市川 光彦  
若林 一明  
小泉 昇一  
若林 良一